

第68回 男鹿駅伝競走大会イベントレポート（第6回：6区）



男鹿温泉郷十マハゲ立像（写真提供：男鹿なび）

【第6区】

レースは残り2区間、トップ学生チームに38秒差の全体2位で終盤の6区へ。

6区は、今年のコース変更による新設区間で約10kmの距離があり、入道崎から小刻みなアップダウンを繰り返し、中間地点では従来のスタート地点であった男鹿温泉郷付近を通過する。

男鹿温泉郷付近にはコースのポイントとなる約1km続く大きなアップダウンがあり、ここまででかなり足を使っているため、残り半分の距離が長く感じる。

今年、6区を任されたのは、神奈川県出身で入社12年目となったベテランの石原である。

石原は現在、ES事業部管理部管理課に所属し、主に製品を製造する数量や時期、在庫を管理する生産管理業務を担当している。

男鹿駅伝における石原と言えば、旧コースでは長らく起伏の激しい4区を走り、過去に走った5回の走りでは同一区間を誤差20秒前後にまとめ、一度も大きく外したことはない。

その正確なラップと安定した走りは、淡々と自らの仕事をこなす職人のようであった。

ShinDengen



6区：9.9km（入道崎～北浦（ニコット））

レースは、トップ学生チームとの差を保ったまま、引き続きトップを追走して展開する。

今年のレポートは、この後、走った選手の直筆感想からレースのリアルな実況をお届けする！！



レース序盤の石原の走り

<<石原選手レポート>>

レース2週間前から10日前にかけて調子は上向きで、集団でまとまって行うポイント練習もチームメイトと一緒に実施出来ていた。

しかし、レース前日の朝練習から急に右膝が痛み出し、これまで走ったいつもの年より不安と緊張感のある状態で当日のレースを迎えた。

今大会では、コースが変更され、これまで走ってきた区間が2区となり、そこには勢いのある若手を安心感をもって任せられることとなったため、今回は新設コースで終盤の要となる6区を走ることになった。

当日のレースでは、コースの下見は前日に行っていたが、少しオーバーペース気味に入ってしまう、序盤の小刻みな起伏で思った以上に体力を消耗してしまった。



レース中盤の石原の走り

その後は、前日に痛み出した右膝の影響は然程感じられなかったが、レース序盤に思いのほか力を使ってしまった影響から、中盤から終盤の走りは想定していた以上に失速が大きかった。

終盤はキツくなったが、何とか持ちこたえて次走者に襷をつなぐことが出来た。



男鹿温泉交流会館五風(写真提供:男鹿なび)

レースの総括としては、チームとして一般の部で優勝という結果を残せたのは一つ成果を得ることが出来たと考えるが、個人としてはレースの組み立て方や調整練習方法などに課題が残る結果となったため、次回以降のレースに活かしたいと考えている。

今後は駅伝でのチーム成績への貢献と、7ルマソンでの自己記録更新を目標に引き続き日々の練習に励んでいく。

最後になりますが、日頃より職場や会社関係者の方々をはじめ、多くの方にご支援ご声援を頂きましてありがとうございます。

チームの一員としてより良い結果を残していきたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援、ご声援の程宜しくお願い致します。

(終)



安定感のある走りを披露する石原

- ※ 石原選手のレポートいかがだったでしょうか。
普段から常に落ち着き、業務にも競技にも黙々と取り組む彼のクールさが伝わるレポートで、
今大会においても、周囲の期待に対し当り前のようクールに対応してくれました。
フルマラソンでも益々活躍が期待される石原選手とチームの益々の活躍をご期待下さい！！

【6区成績】一般の部

距離 : 9.9km

順位 : 2/41位 (大学を含む全体順位 : 5/52位)

タイム : 31分03秒 (目標タイム : 新設区間のため区間賞)

以 上

- ※ 次回はいよいよ最終区、イベントレポート (第7回 : 7区) へ続く